

## 日本海洋データセンター創設50周年に伴う長官表彰 ～海洋情報・データの一元化などの貢献者を表彰～

日本海洋データセンターは、国際海洋データ・情報交換システムにおける日本の代表機関として、海上保安庁が独自に収集した情報だけでなく、国内外の海洋調査機関によって得られた海洋情報及びデータを一元的に収集・管理し、国内外の利用者に提供しています。

同データセンターは本年度で創設50周年を迎えることから、これまでに海洋に関する多くの資料提供などで貢献した個人・団体に対し海上保安庁長官から感謝状を贈呈します。

海上保安庁長官感謝状贈呈式を下記のとおり行います。

### 記

- 1 日 時 2月9日(火)午後2時40分～午後3時10分
- 2 場 所 海上保安庁長官室  
東京都千代田区霞が関2-1-3
- 3 受賞者 別紙名簿の通り

### 【日本海洋データセンター(JODC)とは】

ユネスコ政府間海洋学委員会(UNESCO/IOC)の決議に基づき、各国に国立海洋データセンターが1機関指定されている。我が国は、海上保安庁海洋情報部海洋情報課が日本海洋データセンターとして指定され、国内の海洋に関する観測データや調査計画の一元的な収集・管理を行っており、また国際的な交換を行っている。

国内の海洋調査機関の協力により、現在では、日本海洋データセンターが提供している国内の観測データは、世

界海洋データセンターで登録されているデータの11%を占めており、米国に次いで2位となっている。



別紙

個人【海洋情報一元化への著しい貢献】

職 名	ふりがな 氏 名	功 績 概 要
東京大学大気海洋研究所副所長 教授	みちだ ゆたか 道 田 豊	多年にわたり海洋情報の収集や国際交換におけるデータポリシーの作成及び海洋情報の一元化等に指導的役割を果たし海洋情報業務に貢献したものの。

団体【水路の測量又は海象の観測に支援・協力又は資料提供】

団体名	功績概要
海上自衛隊海洋業務・対潜支援群対潜資料隊	多年にわたり海洋に関する多くの資料を提供し海洋情報業務に貢献したものの。
国立研究開発法人 海洋研究開発機構	
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	
国立研究開発法人 港湾空港技術研究所	
東北大学大学院理学研究科	